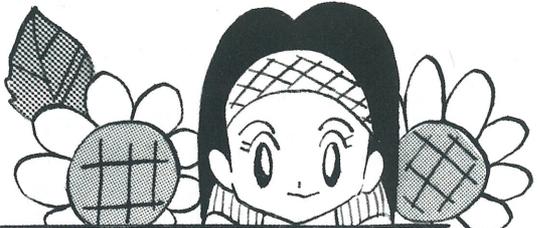


# みらい 未来ちゃん

## 第3回「教科書ってなぜタダなの？」

作画 南一平



教科書って どうせタダだし 読めれば いいじゃない



未来 もう少し 教科書を 大切に しなさい

ただいま!



教科書って おじさんが 子どもの頃は 買ってたんだよ

弟や妹は お兄さんや お姉さんのお古を使う こともあったんだ



ごめんなさい これから教科書 大切にしますよ



一九六一年 (昭和三十六年) に 高知県の被差別部落で 教科書を無償にと 運動が起こったんだ

貧しくて 学校に行けない 子どももいたし 教科書を買えない家も あったんだよ



そうなんだ...

高知から始まった この運動は国をも動かし 現在ではすべての子どもに 小・中学校の教科書が 無償なんだよ。  
※詳しくは 「ひろば」の 4ページの 解説があるよ

人権まんが  
解説

## 同和問題から みんなの人権へ

部落差別をなくす取り組みが、より多くの人の人権意識の高まりにつながったことの一つに、教科書無償化の運動があります。日本国憲法第二十六条第二項には「すべて国民は、法律

の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする」と定められていますが、現実には、憲法施行後も教科書は有償のままでした。

部落差別をなくすための学習の中で、憲法について勉強していた高知市長浜の被差別部落の親たちが憲法と現実の矛盾に気づきます。そして、教科書無償化を求める運動を始め、一九六一（昭和三十六）年「長浜地区小中学校教科書をタダにする会」が結成されました。この運動は多くの人の共感を呼び、憲法で保障された権利の行使を求める運動の輪が全国に広がっていきま

した。国会でも大きな問題として取り上げられた結果、一九六三（昭和二十八）年に「義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律」が成立しました。

そして、一九六四（昭和三十九）年から一九六九（昭和四十四）年までの間に義務教育の教科書無償化が全国的に実現しました。

教科書無償化のほかにも、部落差別につながる調査項目をなくすための運動により、履歴書等の見直しが行われました。現在は一九九六（平成八）年改訂の「全国統一応募書類」が使用されており、雇用の際のあらゆる差別の解消に大きく役立っています。

また、離島振興法や障害者基本法等、部落差別を解消する取り組みを進める中で、その必要性に気づき成立した法律もあります。

2002

## 夏の元気トピックス

### ●吉田文化会館運営委員会を開催

七月二十四日（水）本年度第二回目の運営委員会が開催されました。新たな任期となって初めての運営委員会であり、委員長に佐藤俊治さん、副委員長に藤井敏夫さんが選任されました。このほか、館の事業についても討議がなされました。



### ●みんな集まれ！「おもしろ工作教室」

七月二十五日（木）吉田文化会館で、今年も百人を超える子どもたちが、手作りキーホルダー、笛づくり、ペットボトルを使った工作などに挑戦しました。



また、今回は子どもたちの指導に、新吉中学校生徒の協力があるなど、活動の輪が広がりました。

### ●先生たちの熱い夏（表紙写真から）

#### ・県同教で日ごろの取り組みを発表

第二十回岡山県人権・同和教育研究大会が八月八日（木）、九日（金）の二日間、岡山市内で開催され、笠岡市から二人の先生が発表されました。

高木聖恵さん（尾坂幼稚園）は「二人一人が自分らしさを発揮しながら、ともに育ち合う仲間づくり」と題して、表現や遊びを通して子どもたちをつなげていく実践について報告されました。（表紙写真右）

小橋典明さん（新吉中学校）は「行動」そして「つながり」へ「人権ビデオ制作の取り組みから」と題して、学習会の学びを全校へひろげていく取り組みを報告されました。（表紙写真左）